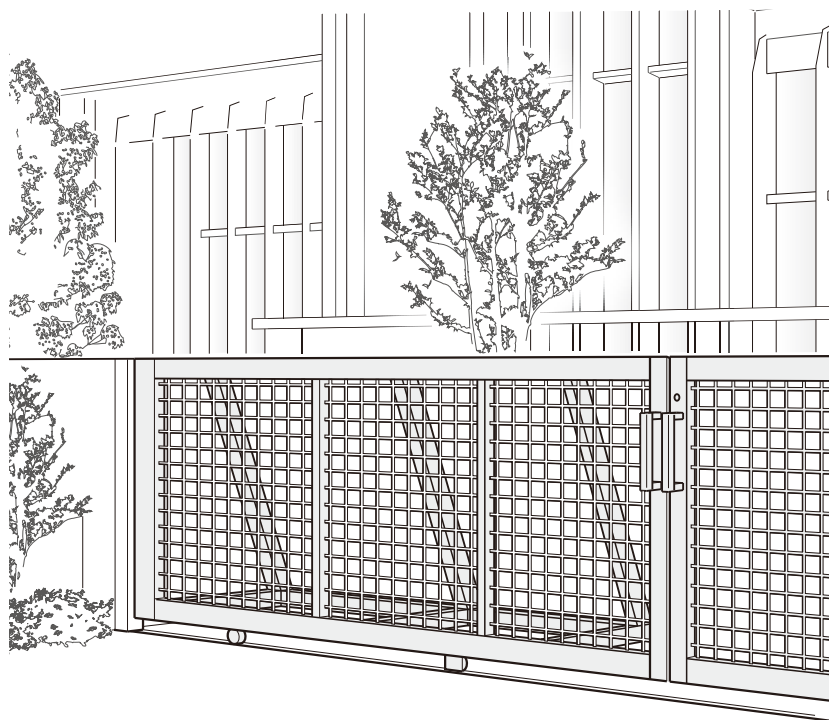


取扱説明書

ジャンボスライド
N-A L 型

この取扱説明書の内容は、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様の危害や損害を未然に防止するためのものです。
表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容（指示）にしたがってください。

⚠ 警告

取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示しています。

⚠ 注意

取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示しています。



行なってはいけない
内容です。



必ず実行していただく
内容です。

お願い

取扱いを誤った場合に、製品の損傷または故障のおそれがある内容を示しています。

安全上のご注意

7

末永くお使いいただくために

1

使いかたとお願い

3

お手入れと調整

5

修理と保証

9

保証書

11

保証書付き

- 製品を安全に正しくお使いいただくために、ご使用になる前にこの取扱説明書を最後までお読みください。
お読みになったあとは、たいせつに保存してください。
保証書は「お引き渡し日、販売店名」などの記入を必ず確かめてください。

末永くお使いいただくために

片引きタイプ

戸当り柱

お手入れ……………P.15

ハンドル

使い方……………P.3

落とし棒

使い方……………P.4

錠

使い方……………P.3

引戸本体

台車

戸車

調整……………P.6

ブレーキ

お手入れ……………P.6

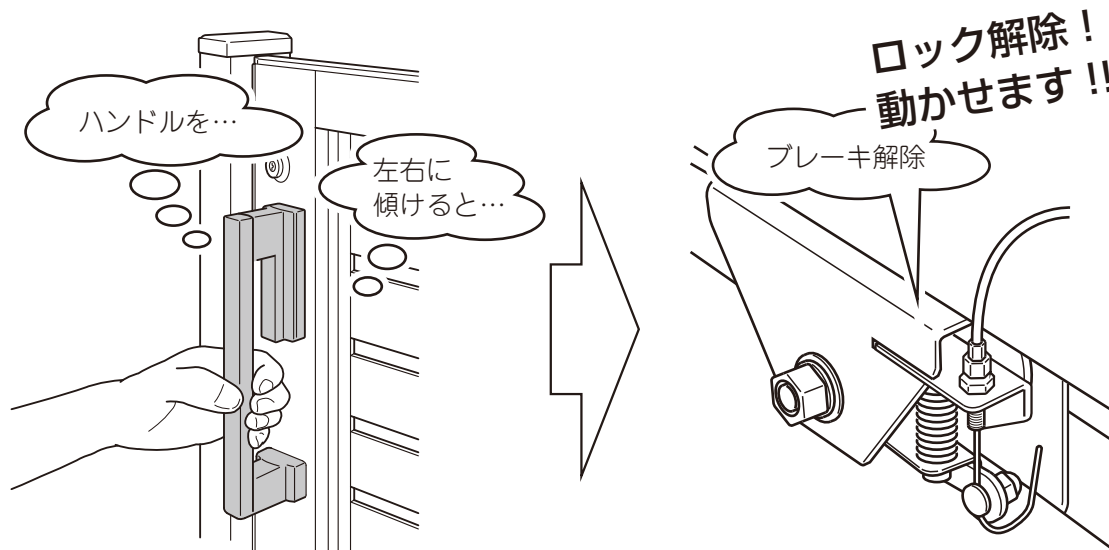
レール

お手入れ……………P.6

ブレーキの機構

ハンドルから手を離した状態はブレーキが作動しています。

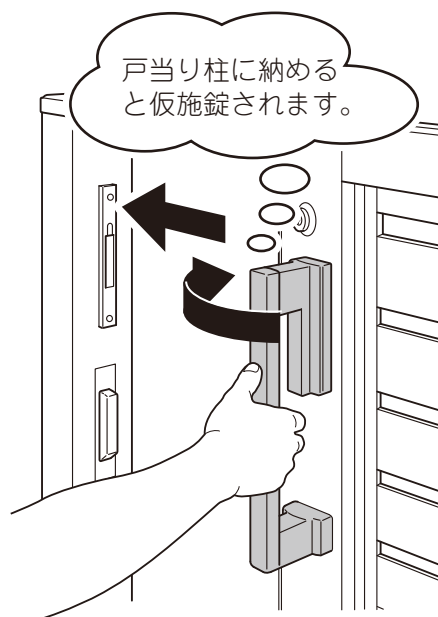
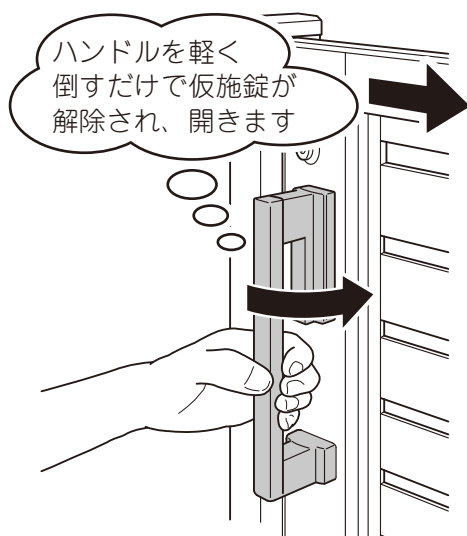
ハンドルを左右に傾けるとブレーキが解除します。



ハンドル

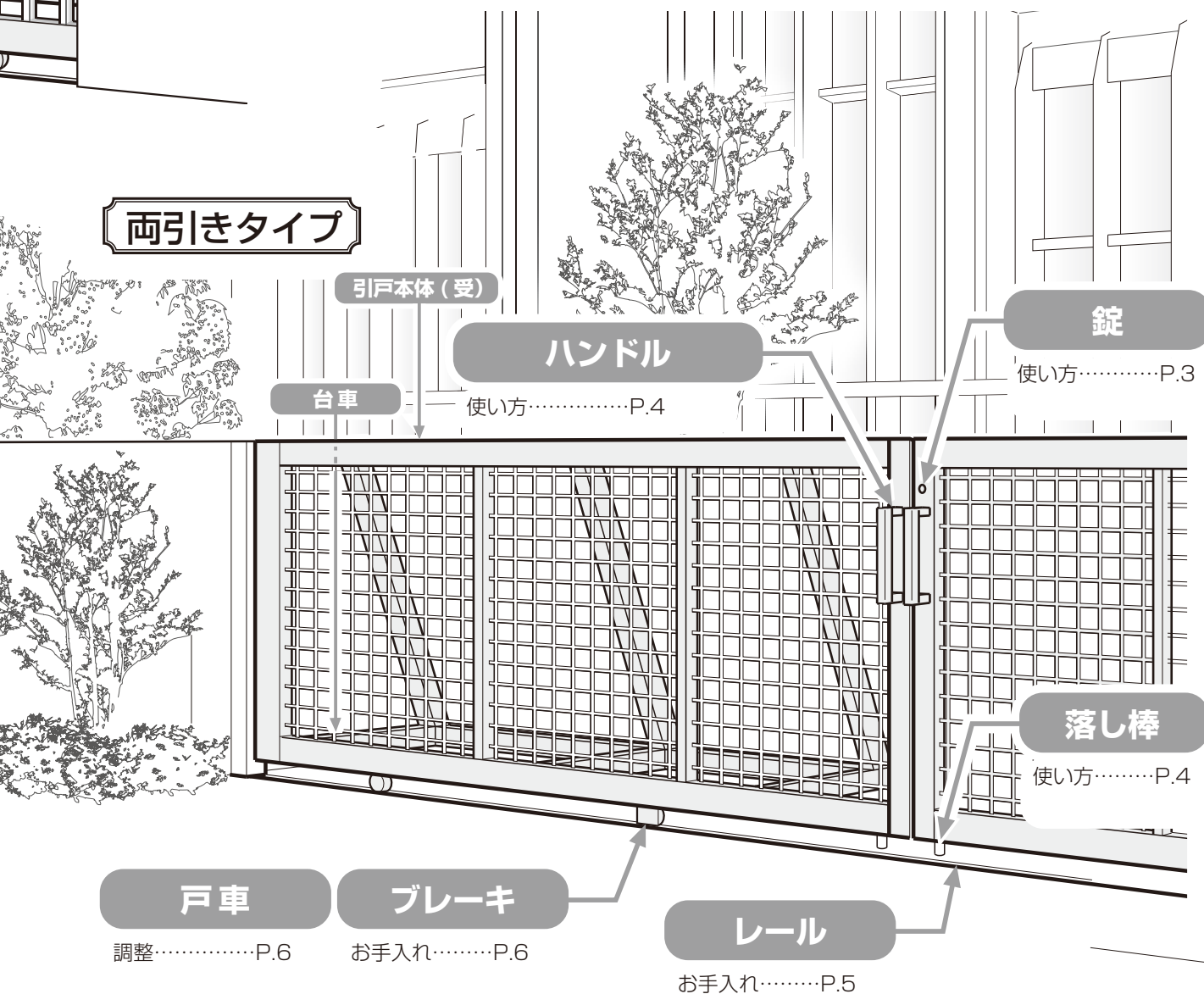
開閉時の操作性、安全性を向上させた機構です。

ワンアクション！！



末永くお使いいただくために

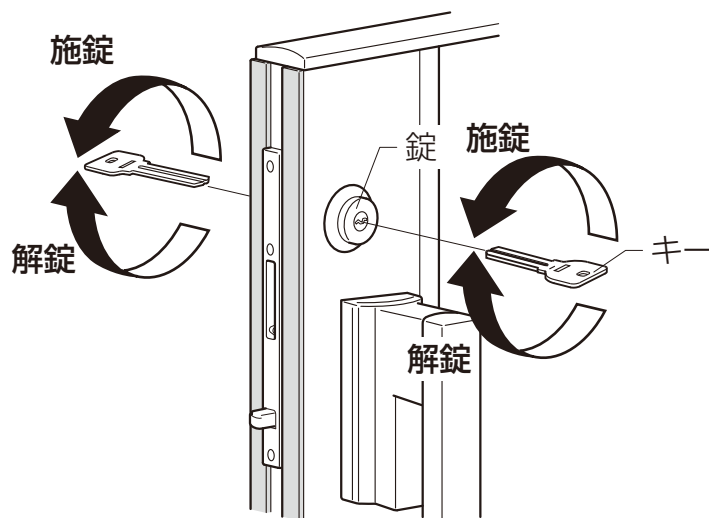
両引きタイプ



使いかたとお願い

錠

施錠・開錠方法



お願い

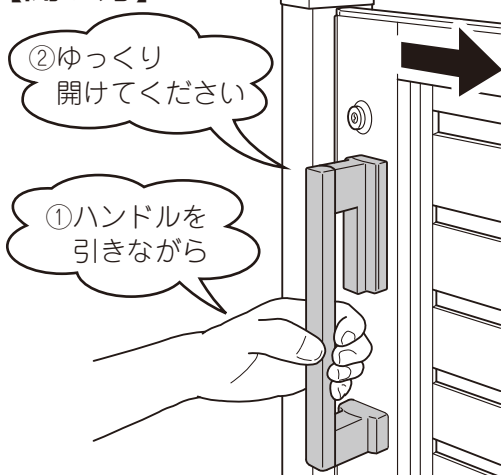
- ・錠に関する部品の交換は、お買い上げの販売店（工事店）にご相談ください。
- ・キーはメーカー純正のものをご使用ください。キーの作製を行うには、キーNoが必要です。キーNoを「6 修理」の欄に控えてください。（英数字で刻印）
- ・鍵穴に油や異物を入れないでください。錠の操作ができなくなります。
- ・鍵がスムーズに動かなくなったら、錠前専用潤滑剤を鍵穴に注入してください。錠前専用潤滑剤以外は使用しないでください。
- ・錠が凍結して動かなくなった場合はお湯をかけ暖め、開錠後すみやかに水分を拭取り、乾燥させてください。



片引き

開け方、閉め方

【開け方】



【閉め方】



お願い

必ずハンドルを持ち、進行方向にハンドルを傾けた状態で行なってください。
ハンドルを持たずに開閉すると破損の原因になります。

使用上のお願い

お願い

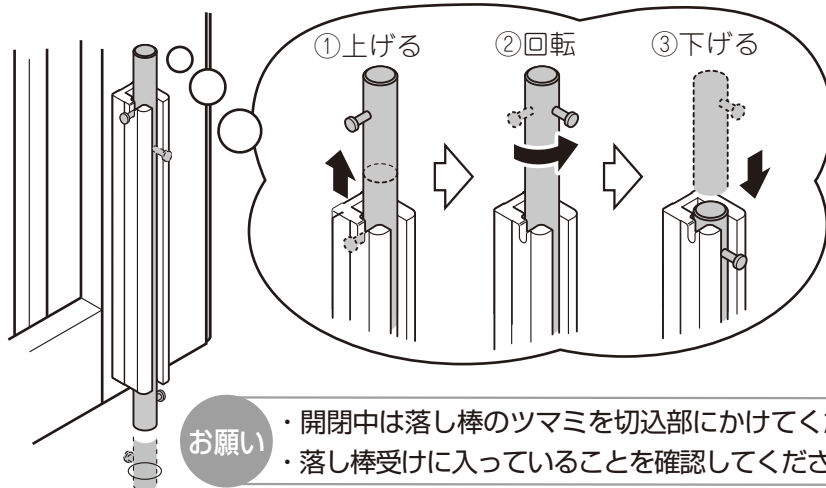
- ・門扉の付近で農薬や殺虫剤などの薬剤を使用する場合は、表面に付着しないようにしてください。表面が変色するおそれがあります。
- ・台車に乗らないでください。
- ・気温が氷点下以下になるとブレーキ周りの部品が凍結し、ブレーキが開放状態となる場合があります。気温が上がると自然にブレーキが通常作動する状態に戻ります。ブレーキ補助のない状態で操作する場合は、安全に十分配慮して極力ゆっくりとした速度で開閉を行ってください。

落とし棒

開け閉めの後に

お願い

開閉操作終了後は、全開または全閉位置にて必ず落とし棒を落とし棒受けに挿入し引戸を確実に固定してください。（ブレーキは動作停止の補助機構であり引戸固定のためのものではありません）



お願い

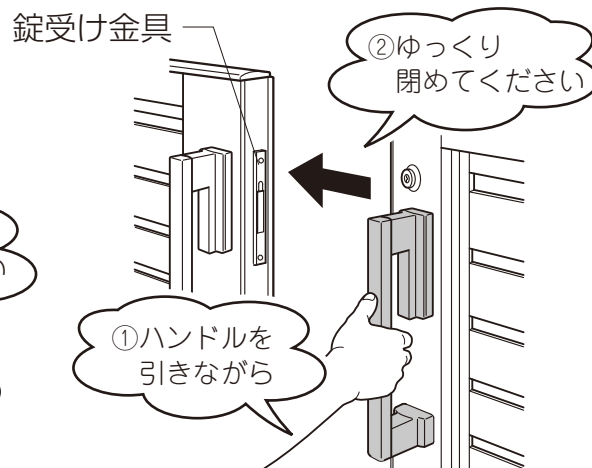
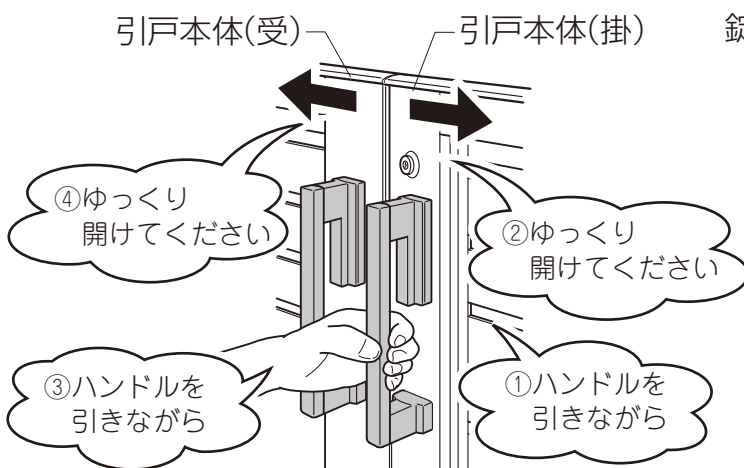
使用中に落とし棒が落とし棒受けに入らなくなったら、落とし棒ホルダーの位置調整が必要です。調整を依頼してください。

両引き

開け方、閉め方

【開け方】 引戸本体（掛）を開けた後、引戸本体（受）をあける順番です。

【閉め方】 引戸本体（受）を止まるまで静かに引出し、その後引戸本体（掛）を引出す順番です。



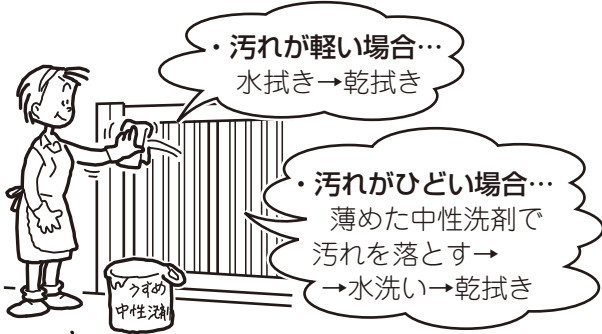
お願い

必ずハンドルを持ち、進行方向にハンドルを傾けた状態で行ってください。ハンドルを持たないで開閉すると破損の原因になります。

使いかたとお願い

お手入れと調整

汚れの取り方：年2～3回



お願い 汚れの拭き取りに下記は使用しないでください。
「ベンジン」「シンナー」「金属製ブラシ」「金ペラ」

キズの補修

お願い 弊社純正の補修塗料で補修してください。

レール 清掃：定期的



レール（ステンレス製の場合）

【ステンレスの錆について】

補足 ステンレスは鉄やアルミより、錆にくい素材ですが、使用環境の影響により表面に錆が発生することがあります。下記の影響により、錆の発生が早くなります。

- ※建設工事や車両の走行の際に飛散する「土」・「ほこり」・「鉄粉」
- ※自動車の排気ガス ※海岸地帯の潮風

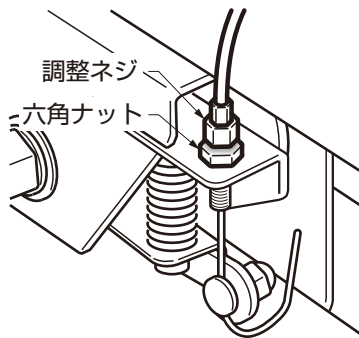
【お手入れについて】

※お手入れ回数は目安です。

状況・場所	理由	お手入れ時期
錆発生直後	錆が広がるのを防ぐため	錆が発生した直後
一般地域		年3～4回程度
海岸地域・工業地域・ 火山灰、農薬、融雪剤散布の 影響を受けることがある地域	一般地域に比べ錆が 発生しやすい環境のため	年3～4回以上
雨がかりにくい部分	大気中に含まれる、錆の原因になる 物質が流されずに付着したままになるため	年3～4回以上
台風通過後	大気中に含まれる、錆の原因になる 物質が付着しているため	年3～4回以上

ブレーキ の調整方法

引戸が重くなったり、引戸が減速しなかった場合に調整してください。



①六角ナットを緩めてください。

②ブレーキの調整してください。

・引戸が重くなった場合

調整ネジを反時計回りにまわす。

・ブレーキの効きが悪くなった場合

調整ネジを時計回りにまわす。

③六角ナットを締める

戸車

清掃：年2～3回

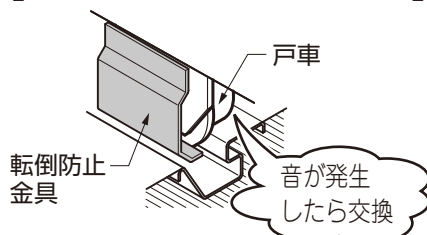


お願い

●市販の防錆潤滑油などを部品に吹きかけないでください。動きが悪くなることがあります。



【戸車の交換について】



お願い

●戸車の摩耗により、レールと転倒防止金具が当たり、音が発生することがあります。音が発生したら、戸車の交換を依頼してください。

お願い

- ・汚れの拭取りには、布やスポンジなどの柔らかいものを使用してください。
- ・ブラシなどを使用する場合は、ステンレスの研磨目にそって平行に行なってください。
- ・下記は使用しないでください。

「目のあらいクレンザー」「紙やすり」「スチールウール」「金属製ブラシ」「金ペラ」

【お手入れ方法】

- ・小石・砂などをあらかじめ取り除いてください。
- ・部分的にためし拭きを行い、錆、汚れの落ち具合を確認してください。



・汚れが軽い場合…

水拭き→乾拭き

・汚れがひどい場合…

薄めた中性洗剤で汚れを落とす→水洗い→乾拭き
※中性洗剤は1～2%を薄めて使用してください。

・「点状の錆」「黄褐色の錆」が発生した場合…

市販のステンレス磨き剤で取り除く

※使用後に白い粉が残る場合がありますので、乾いた布で拭き取ってください。

・手あかなど、除去できない汚れの場合

市販のステンレス用清掃薬剤または、有機溶剤（アルコール、ベンジン、アセトン）で取除く

安全上のご注意

安全上のご注意

⚠ 注意 異常が発生した場合



禁止

●かってな分解、調整禁止!!

異常作動したり、破損してケガをするおそれがあります。

⚠ 注意 お手入れの際は



禁止

●手袋を着用してください!

●薬剤の取扱説明書を十分に読んで!

薬害やケガをしてしまうおそれがあります。

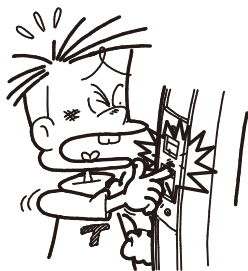
⚠ 注意 錠前



禁止

●錠受け金具（ストライク）に指を入れないで!

指を切ったりケガをするおそれがあります。



●分解、改造はしない!!

中の部品が飛出してケガをするおそれがあります。



⚠ 注意 強風時には



必ず実行

●必ず施錠！ 落とし棒も下げて!

強風で引戸が開き、人に当たるおそれがあります。



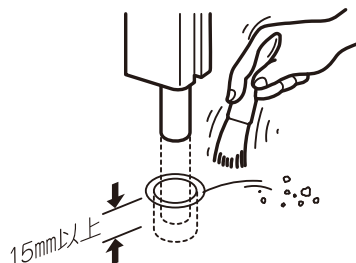
⚠ 注意 落とし棒



必ず実行

●随時清掃して!

落とし棒受けの土砂は、落とし棒の掛かりが15mm以下になる前に取除いてください。
保持強度が低下して強風で引戸が開き、ケガをするおそれがあります。





注意

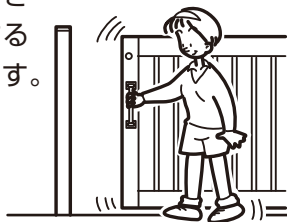
開閉時には



必ず実行

●ハンドルを持ってゆっくり動かして!!

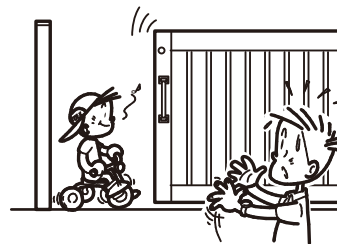
緊急時に停止できず、ケガをするおそれがあります。



●人、障害物に注意

特にお子様に注意して!!

ケガをするおそれがあります。



●2人で開閉して!!

長さ6m以上のものまたは、高さ1.8m以上のものは風であおられてケガをするおそれがあります。



注意

ご使用の際は



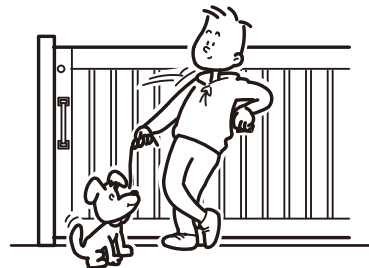
禁止

●ぶら下がらない!

上に乗らない!

寄りかからない!

ケガをするおそれがあります。



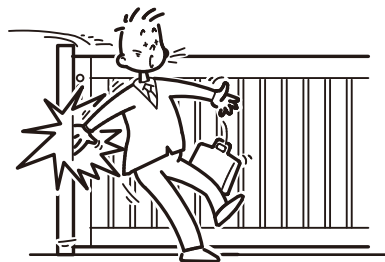
必ず実行

●手を挟まないで!

●必ず全閉、全開で!

落とし棒も下げて!

ケガをするおそれがあります。



注意

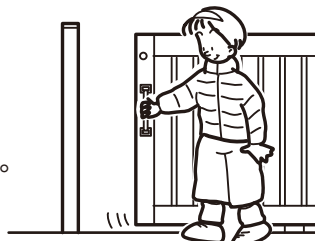
ブレーキ



必ず実行

●寒冷時には確認!

外気温が氷点下の場合、ブレーキが作動しなくなる場合があります。開閉の際にブレーキが作動するか確認し、注意して開閉してください。気温が上がるとブレーキは作動します。



(1) 保証書について

- 保証書は必ず施工店名、施工日などの所定事項を確かめて施工店からお受け取りください。
- 保証書記載内容を確認のうえ、大切に保管してください。

(2) 保証期間

お願い

- 保証期間内でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。

施工完了日(お引渡し日)	1年	2年
電 装 部 品	無 料	有 料
電装部品以外	無 料	有 料

(3) 修理について

- 製品に異常が生じたときは使用を中止し、お買い上げの販売店(工事店)にご連絡ください。
- 修理を依頼されるときは、下記のことをお知らせください。

故障の状況	できるだけ詳しく	ご 氏 名	
製 品 名		ご 住 所	
施 工 日	年 月 日	電 話 番 号	
施 工 店 名		キー NO	

- 消耗品は寿命があり、有償保証となります。

(4) 点検および修理料金のしくみ

- 修理料金は技術料、部品代、出張料などで構成されています。
 - ・技術料は、点検および故障個所の修理および部品交換、調整などの作業にかかる費用です。
 - ・部品代は、修理に使用した部品代です。
 - ・出張料は、修理士を派遣する場合の費用です。なお修理により交換した部品、製品は、特段のお申し出がない場合は当社にて引き取らせていただきます。

(5) 交換用部品について

- お客様で自身でお取替えいただける部品については、ホームページよりご注文いただけます。
 リクシルパーツショップ <http://partsshop.lixil.co.jp/shop/>
 掲載のない部品につきましては、お求めの取扱い店又は当社お客さま相談センター ☎0120-126-001
 にご連絡ください。

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

ジャンボスライド N-AL型 保証書

製造No. (商品名シールNo.)		
保 証 期 間	対 象 部 品	期 間 (お引渡し日より)
	本 体	2 ヶ 年
	電動商品	1 ヶ 年
お引渡し日	年 月 日	
お 客 様	ご住所	
	お名前	様
	電 話	()

本書はお引渡し日から左記期間中故障が発生した場合には、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。詳細は下記記載内容をご参照ください。

※お引渡し日、お客様名、施工店名及び製造No.が不明の場合は、保証し兼ねますので施工店に必要事項の記入をご依頼ください。又本書は再発行致しませんので大切に保管してください。

※開閉カウンター回数が20,000回(往復10,000回)を超えた場合は、保証の対象外。

施 工 店	住所・店名	(印)
	電話	()

株式会社 LIXIL

〒136-8535 東京都江東区大島2-1-1

- 1. 保証者**
株式会社LIXIL
 - 2. 保証の対象者**
当該商品の所有者
 - 3. 対象商品**
LIXILブランドで発売しているエクステリア商品
 - 4. 保証内容**
取扱説明書・表示ラベルまたはその他の注意書きに基づく適正なご使用状態で、保証期間内に発生した不具合については、下記に例示する免責事項を除き、無料修理いたします。
 - 5. 保証期間**
当該商品の施工完了日(お引き渡し日※)から起算して2年間。(電装部品及び木製部品については1年間)、施工を伴わない商品についてはご購入された日から起算して1年間。ただし、表記期間内であっても、開き門扉および引戸門扉など開閉カウンターを設置している商品について、開閉カウンター回数が20,000回(往復10,000回)を超えた場合は保証対象外です。
 - 6. 品質保証の免責事項**
保証期間内でも、次の様な場合には有料修理となります。
 - ① 当社の手配によらない第三者の加工、組立て、施工(基礎工事、取付工事、シーリング工事、電気工事など)、管理、メンテナンスなどの不備に起因する不具合(海砂や急結剤を使用したモルタルによる腐食、中性洗剤以外のクリーニング剤を使用したことによる変色、腐食、基礎寸法や取り付け寸法違いなどによる性能低下、工事中の養生不良による変色や腐食など)。
 - ② 取扱説明書や表示ラベル、カタログなどに記載された使用方法からの逸脱及び適切な維持管理を行わなかったことなどに起因する不具合(例えば、雪下ろしや操作上の注意などの注意シール内容の不励行による破損など)。
 - ③ 表示された商品の性能を超えた性能を必要とする地域や場所に取り付けられた場合の不具合(例えば、積雪強度、耐風圧強度、寒冷地での作動性や凍結に起因する不具合など)。
 - ④ 建築躯体の変形など商品以外の不具合に起因する商品の不具合。
- ⑤ 商品又は部品の経年変化(使用に伴う消耗・摩耗など。木製品のさくれ、ヒビ割れ、変色、ネジ、ボルトの緩みや釘の浮きなど)や経年劣化(樹脂部分の変質・変色など)またはこれらに伴う不具合、および電池・電球などの消耗品の損傷や故障。
 - ⑥ 商品又は部品の材料特性に伴う現象(例えば、木製品の反り、干割れ、色あせ、木目違い、節抜け、樹液のにじみ出しなど)。
 - ⑦ 自然現象や住環境に起因する結露などに起因する不具合(例えば、結露による凍結、サビ、カビ発生など)。
 - ⑧ 環境が特に悪い地域又は場所に取り付けられたことに起因する腐食及び不具合(例えば、海岸地帯での塩害や大気中の砂塵・煤煙・金属粉・亜硫酸ガス・アンモニア・車や給湯器などの排気ガスなどが付着して起きる腐食や塗装はく離、異常な高温・低温・多湿による不具合、軟弱地盤による沈下や、倒壊など)。
 - ⑨ 天災その他の不可抗力(例えば、暴風、豪雨、洪水、高潮、地震、地盤沈下、落雷、火災など)により商品の性能を超える事態が発生した場合の不具合。
 - ⑩ 実用化されている技術では予測不可能な現象またはこれが原因で生じた不具合。
 - ⑪ 犬、猫、鳥、ねずみ、虫などの小動物の害、またはつるや根などの植物の害、またはそれに関する不具合。
 - ⑫ 所有者様や第三者による不当な修理や改造(必要部品の取り外し含む)に起因する不具合。
 - ⑬ 本来の使用目的以外の用途に使用された場合の不具合、又は使用目的と異なる使用方法による場合の不具合。
 - ⑭ 犯罪などの不法な行為に起因する破損や不具合および盗難。
- ※保証期間経過後の修理・交換などには有料といたします。
※本書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、最寄りの当社支店・営業所・お客さま相談センターにお問い合わせください。
※本商品保証は日本国内においてのみ有効です。
(This warranty is availed only in Japan.)

※当社の商品に関し、上記に記載の保証期間、保証内容の範囲において無料修理を行うことをお約束するものです。

※保証期間中に故障・損傷などの不具合が発生した場合には、お取り扱いの施工店、工務店、販売店に修理を依頼してください。当社支店・営業所、お客さま相談センターにてもご相談を承ります。

※ショールームの所在地、カタログの閲覧・請求、図面・CADデータなどの各種情報は、上記オフィシャルサイトからご確認ください。

会社や商品についての情報のご確認は、LIXILオフィシャルサイトまで

<http://www.lixil.co.jp/>

商品についてのお問い合わせ・部品のご購入は、お客さま相談センターまで

受付時間/月～金 9:00～18:00 土・日・祝日 9:00～17:00(ゴールデンウィーク、夏期休暇、年末年始等を除く)

TEL. ☎0120-126-001 FAX.03-3638-8447

修理のご依頼は、LIXIL修理受付センターまで

受付時間/月～金 9:00～18:00(祝日、年末年始、夏期休暇等を除く)

TEL. ☎0120-413-433 FAX.☎0120-413-436

<http://www.lixil.co.jp/support/>

※当社は、当社商品のユーザー様及び流通業者様等の皆様の個人情報を商品納入や商品保証書を通じて取得し、将来にわたる品質保証、メンテナンスその他の目的のために利用致します。当社の個人情報の取り扱いについて詳しくは当社ホームページの『プライバシーポリシー』(<http://www.lixil.co.jp/privacy/>) をご覧ください。

取説コード

UD129

JZZ634825
201504A_1039
201805B_1039